

1	日	国民健康保険証～浅黄色に変わります～(P 11) 人口4万人到達日当てクイズ受け付け開始(P 6)	休日当番医=広川医院・西笠巻1・☎373-3221
2	月		
3	火		
4	水	心配ごと相談所(☎13時～☐老人センター)	
5	木		
6	金		
7	土		
8	日	生涯学習センター市民説明会(☎14時～☐青年教育センターP 7)	休日当番医=石崎医院・中央通3・☎372-3820
9	月		
10	火		
11	水	大郷橋交通規制(片側交互通行=10月10日までの8時30分～17時 終日通行止め=10月11日～11月30日P 7) 青年スクール初日(☎11月20日までの毎週水曜日☐教育センターP 13) 母子手帳交付日(☎13時30分～☐保健センター) 心配ごと相談所(☎13時～☐老人センター)	
12	木		
13	金		
14	土		
15	祝	しろね大鳳と歴史の館 65歳以上入館料無料	休日当番医=関川医院・新飯田中町・☎374-2002
16	月	献血(☎11時～正午 2 13時～15時30分☐ジャスコ白根店P 10)	休日当番医=北条耳鼻咽喉科・四の町・☎372-2240
17	火		
18	水	エアロビクス教室初日(☎10月16日までの毎週水曜日 19時30分～21時☐カルチャーP 9)	
19	木	心配ごと相談所(☎13時～☐老人センター)	
20	金	パパとママのための子育てセミナー(☎19時～21時☐保健センターP 11)	
21	土	中央公民館陶芸講座～石田一平先生・卒業生・講座生記念作品展 (☎23日まで 9時～19時(23日は16時まで)☐カルチャーP 13)	
22	日		休日当番医=村田整形外科・小須戸町・☎0250-38-5211
23	祝		休日当番医=田中眼科医院・水道町1・☎373-3962
24	火	レディーススイミングスクール初日(☎10月22日までの毎週火曜日)	
25	水	心配ごと相談所(☎13時～☐老人センター)	10時～11時30分☐ウエイブスイミングクラブP 9)
26	木	弁護士による無料法律相談(☎13時～16時☐教育センターP 7)	
27	金	いきいき血管教室初日(☎以下4回☐保健センターP 11)	
28	土	求人求職相談・ハローワークピアしろね(☎9時30分～☐市役所)	
29	日		休日当番医=馬場医院・杉菜町・☎373-6565
30	月	インターナショナルコンテスト応募締め切り(P 12) 文芸しろね応募締め切り(P 12)	

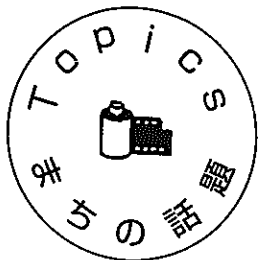
▶10月以降の予定◀

- ・糖尿病教室(☎10月21日から4回コース☐保健センターP 11)
- ・市民ニューススポーツ大会(☎10月10日 13時～16時☐カルチャーセンターP 8)

情報報 ウィンドウ



長月■ながつき 夜が長くなる月の意味。稲刈(いなり)月の上と下が略されてなが月となったともいう。菊開月、紅葉月ともいう。

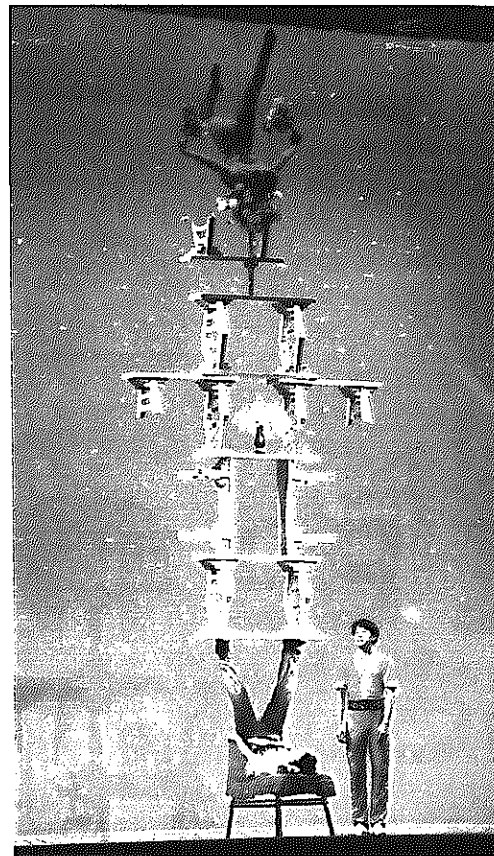


中国少年友好芸術団
見事な曲芸を披露

中ノ口川さわやか文化交流事業

身近な情報をお寄せください

白根市役所
企画財政課
広報広聴係
☎373-2111



七月三十日、カルチャーセンターで、「中ノ口川さわやか文化交流事業」と題し、中国新疆少年友好芸術団と白根市、味方村、月湯村、中之口村の小学生約四百人の交流会が開かれました。これは新潟広域市町村協議会白根ブロックが主催したものです。芸術団の少年たちは、伝統舞踊のほか、玉乗りをしながら回転したり机を幾つも重ねた上で逆立ちしたり、難度の高い曲芸を披露。素晴らしい技の数々に日本の子供たちからは「うわー」、「すごい、すごい」と歓声が上がっていました。ふるさと芸能公演では、白井地区の棒踊りや月湯村の月湯太鼓などが披露され、中国の子供たちからも大きな拍手が送られていました。

私立保育園建設をめぐる議論

わくわく大通っ子クラブ 談・トーク



市民団体と市長の対話集会「談・トーク」が、七月三十一日、大通生活センターで開かれ、大通地区の母親たちと竹内市長が市の福祉行政について語り合いました。

今回の主催団体である、わくわく大通っ子クラブは、大通地区の小さな子供を持つ母親たちで構成されたクラブ。夏休みなどを利用して、数々の親子行事などを行っている団体です。親子、市長、みんな一緒にお昼ごはんを食べた後、母親約三十人と市長が懇談。私立保育園の誘致を争点に議論が交わされました。「新潟の保育園に通っている子も多い。なんとか白根市にも私立保育園を」と求める声に対し、竹内市長は「対応には時間が掛かることを分かってほしい。もちろん保育所の不足は理解している」と返答。また「(私立保育園の誘致は)『ある地区だけのために』というわけにはいかない。皆さんも団地から出て、いろんな人と情報交換しながら、この運動を全体的なものに盛り上げてほしい」と、クラブの活動に期待を寄せました。

おいしさたっぷり、白根の果物

白根果樹観光協会開園式



夏から秋に掛けては、果物のおいしい季節。シーズンに先立ち、八月一日、市内四つの観光果樹園で関係者らが出席して合同の開園式が行われました。今年は春の低温で開花が遅れ、モモやブドウの出荷が最盛期のお盆に間に合うか心配されましたが、七月下旬からの高温で順調に成熟。「糖度の高い果物を食べてもらえ」と果樹観光協会。笠原協会長は「県外からの問い合わせも多く、平年以上に期待できる年。白根の果物は他県に出しても見劣りしないものばかり。秋には食味の良い果物が出回ります。ぜひ食べていただきたい」と話していました。